

会議録

- 1 会議の名称 令和8年度 第1回 子ども・子育て会議
- 2 開催日時 令和8年8月7日（金）午後1時30分から午後3時15分
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室
- 4 議題
 - （1）会長、副会長の選出について
 - （2）熊取町こども計画にかかる令和7年度実績及び令和8年度施策方針について
 - （3）部会の開催について
 - （4）その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 3人
- 7 審議等の概要

案件1 会長、副会長の選出について

委員の互選により、大阪観光大学 理事長 山本健慈氏を選出。

副会長は、会長の指名により、和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授の森下順子氏に決定。

案件2 熊取町こども計画にかかる令和7年度実績及び熊取町こども計画にかかる令和8年度施策方針について

事務局より、資料1「熊取町こども計画の実施状況等」、資料2「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業（家庭・子ども支援に関連する事業分）実績等」に基づき、説明を行った。

【質疑応答】

委員：資料1の施策N0.129 放課後児童健全育成事業の「次年度以降の方向性」が、昨年、事務局に依頼して、追加した文章のままになっている。NPOが学童保育所の指定管理者となり、10年になるが、来年度からは、5小学校区のうち3小学校区を運営する。町のホームページでは、現在、東小校区と西小校区の事業者について公募が行われている。保護者説明会でも、保護者から、来年度以降の保育内容の継続性や保育情報の共有化について不安があるとの意見も出ていたが、全くそれに触れていないのは、いかがなものかと思う。

事務局：委員からご意見いただいた学童保育所の今後の展望については、大きい話なので、最後にまとめて時間をいただいております。これまでNPO熊取こどもとおとなのネットワークにすべての学童保育所の指定管理をお願いしていたが、児童数の増加によるクラブ数の増加や支援員の人員不足により、令和9年度から次の5年間の指定管理については、中央、北、南の3校区をNPO法人による随意選定、西、東の2校区については、新たな法人を公募するということで、町ホームページに掲載している。7月に保護者向けの説明会を行ったが、今後、9～10

月に第2回以降の選定委員会を開く予定となっている。12月議会で、新たな指定管理者の指定議案が議決されたら、12～1月の早々に新しい事業者とともに、保護者説明会を開き、なるべく早い段階で基本協定を結んだ上で、引継ぎを行っていく予定となっている。

委員：五門ふれあい公園がなくなったことで、道路で遊ぶ子どもやコンビニの前に溜まっている子どもが増えたように感じている。学童保育に入っている子どもについては、この会議で考えているが、入っていない子どもについても、日頃、どこで遊んでいるか、きちんと考えないといけなかったと思っている。事故があつてからでは遅いので、早急に考えないといけないことだと思う。

事務局：子どもの放課後の居場所については、関係課に意見を伝えるとともに、部会の中で、意見交換をしていただけたらと考えている。

委員：資料1について。放課後等デイサービスの状況も載せるべきだと思うので、加えてほしい。

事務局：来年度、掲載できるよう準備できればと考えている。

委員：小学校の安全対策について。不審者が出た際、先生達が下校時に一緒に歩いてくれる場合がある。その際に、こども110番の家の旗等を見かけるが、現在、協力家庭の募集を行っていないように思う。働いている人も多いので、役場に取りに行くのではなく、(連絡アプリの)LEBER(リーバー)で希望を聞いて、回答のあった人に学校で配付していただければ、協力家庭も増えるのではないと思う。

また、小1、(中1)の壁について。知らないところに行くのは、不安だと思うので、年長さんや小6児童、保護者が、授業参観など学校の様子を見に行ける機会があればいいと思う。在校生も、自分の知っている保護者や年下の子が来たら、きちんとしなくてはと思うのではないかな。

また、最近は、災害等がたくさん発生しているので、消防で実施されている普通救命講習がもっと普及したらよいと思う。学校で、保護者が講習を受けられれば、ボランティアのプールの監視員として、(プール開放をする場合)見る目が増える。何かメリットがあれば、受講する人が増えると思う。

事務局：こども110番の家の募集方法については、担当部署に確認して、お答えさせていただく。

会長：委員のお話を聞いて、人口3000万人時代に向けた現象が、いろいろなところに出ていると感じた。賢く縮む、みんなが納得いくような形で、どのように着地点を作るかが重要である。学童保育の件も、つい先日、聞いて驚いた。かねてから運営が大変だと聞いていたので、今回のようなことがあると思っていた。

我々世代で、学童保育にお世話になった人は多い。こういう問題が起こっているということをみんなで共有していれば、知恵を出したり、意見を言う人はたくさんいたのではないかな。会議という形でなくても、是非、このような場で、役場の職員と情報共有して、町民としてどうするか、

みんなで考える習慣を、町の文化として作っていく必要があるのではないかと思います。

案件3 部会の開催について

事務局と会長より、資料3「部会の開催について（案）」に基づき、説明を行った後、4つの部会に分かれて、自己紹介、部会長、副部会長を選出し、部会のテーマ、日時について話し合った。

会長：部会があるというのが、本町の子ども・子育て会議の一番の特徴である。去年は、部会に加え、役場若手職員のワークショップも行った。自分が市民としてどう考えるか、自分の業務的なタスクとしてどう考えるかということで、大変有意義であった。部会への参加は、有志であるが、趣旨をご理解いただき、積極的に参加してほしい。

案件4 その他

事務局より、令和8年度の子ども・子育て会議の今後のスケジュールについて、説明。

委員より、自身の所属する団体が実施しているホームスタートのホームビジター養成講座を案内。

8 審議会の情報	名称	子ども・子育て会議
	根拠法令等	子ども・子育て支援法
	設置期間	平成25年10月1日～
	所掌事項	子ども・子育て支援事業計画を包含する熊取町こども計画の策定、実施状況及び推進に関すること。その他子ども・子育て支援等に関する重要事項を調査審議すること。
	委員数	23人（25人以内）

9 担当課	こども育成課
-------	--------